

知っていることを

# つたえる

—身近な実践事例集—



茨城県PTA連絡協議会

教育問題委員会

## まえがき

毎年行われている指導者研修会ですが、平成20年度より茨城県と茨城県PTA連絡協議会が委託契約を締結し「茨城県委託事業」として各地区・各市町村にて開催されました。本年度も多くの参加者による問題提起や実践事例が発表されております。

しかし、これら多くの意見交換の内容は、行われた研修会の対象学校への配付で終わるか、もしくは研修会への参加者のみへの報告で終わってしまうこともあるのではないのでしょうか。

本年度教育問題委員会では、各地で行われている指導者研修会の報告内容から、皆様に「伝えたい!」と思われる内容を選び出してみました。参加された方々の気持ちの込められた報告書ですので、ほぼ原文のまま纏めあげました。活発な意見交換がなされている中に、少しでも皆様のお役に立てる情報があることを委員一同願っております。

平成20年度は次のテーマで行われました。

「学校、家庭、地域社会の連携を担うPTA活動の在り方」

～青少年に豊かな人間性を培うために～

1. いじめをなくすために (19年度新設テーマ)
  2. 子どもの安全確保をするために
  3. 家庭の教育力を高めるために (20年度新設テーマ)
- その他、地域の実情に合ったテーマ

## 目次

早寝・早起き・朝ごはん	1
家庭の教育力を高めるために	3
参加したいPTAにするために	5
給食費未納問題と親の責任をどう果たしたらよいか	7
豊かな心をもつ子どもに育てるために	8

# 早寝・早起き・朝ごはん

## 協議内容

### ○朝ごはんについて

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」を啓発していったら、朝食摂取率が100%になった。
- ・学校からの通信便り等で、朝食の重要性を情報発信している。子どもたちが朝食をとってきたかを言葉で確認するとともに、表情をよく見て、子どもの状態を見逃さないようにしている。

### ○早寝・早起きについて

- ・子どもは、早くに子ども部屋に引き上げるが、何時に就寝したか把握している親は少ないのではないかと。
- ・夜型の子どもが親の影響が増えている。居酒屋などで、夜の11時頃親と一緒にいる子どもの姿を見る。

### ○携帯電話について

- ・携帯電話は、夜、親が預かるようにという学校の指導があり、夜遅くのメールのやりとりはない。
- ・不安症の生徒が担任とメールの交換をしているが、夜8時までと決めている。制限をすることで逆に安心を生むことをカウンセラーから指導を受けた。

### 今後の課題

小さい頃からの習慣が、規律を生む。学校を発信源にして習慣を広めたい。

## 指導・助言

昨年からはまった「全国学力調査」で、秋田県が連続トップである。また、北陸地方等が上位を占めている。生活状況調査との関連で、朝食をとっている子どもは、成績が良いというデータが示された。これは、朝食が脳を活性化させるということばかりではなく、朝ごはんを家庭で一緒に食べることで、親とのゆったりした時間を持つことができ、また、ゆっくり話をするができることで、心の安定を得ることができるからだろう。どのようにしてこの時間を確保するか、地域の実態に合わせて工夫改善をしていただきたい。

昔は、地域の中に子どもを正しく導いてくれる大人が存在した。これを「地域力」と言う。「学校」「家庭」「地域」のバランスが良くとれた教育力が実践された地区の子どもは安定して育つ。

親が、どのような子どもに育ててほしいかを、言葉や親の行動できちんと示すことが「家庭教育力」である。母親の言葉、父親の言葉それぞれできちんと伝えたい。これらを伝える時間を確保することに前向きに取り組むことが「教育力」である。

また、親からのトップダウンする内容と子どもの選択に任せる内容とをはき違えないようにしなければならない。社会規範は、トップダウンである。

さらに、携帯電話は、非合法社会への「どこでもドア」と言われている。親は覚悟を持って子どもに持たせる、という心構えが必要である。

子育ての最終責任者は、親にあるので子どもと共有する時間を大切に確保してもらいたい。

家庭で教育すべきことを、学校へゆだねる傾向が見られる。学校と家庭の役割分担を明確にしなければ、家庭の教育力は希薄になり、こどもの健全な育ちはなされない。

教育問題委員会より



- 基本的な生活のリズムは、家庭での小さい頃からの積み重ねである。親の都合に合わせてのではなく、子どもに習慣をつけさせる為に親は努力すべきではないか。
- 寝る事は何もしない事ではない。明日の活力へのインターバルである。人に良い事が食事であり、健やかなる心も身体もそこから始まる。
- 家庭の教育力が落ちているのでしょうか、すべてを学校に依存してしまっていないか、親業を教える教育機関が必要なんでしょうか。

# 家庭の教育力を高めるために

## 協議内容

### ○家庭の教育力とは

- ・いろいろなことを経験させることが大切。
- ・基本的なマナーをしつけない。注意できる親でいたい。
- ・しつけ。やってはいけないことはやらない。
- ・家庭に基本があって社会に出ていける。家庭教育が大切。
- ・子どもの教育は道徳心が大切。学力向上には熱心だが、人とのふれあいのを大切にするのがおろそかになっている。街に出かけたとき、まずい行動があるとき親が一緒でも注意しない。

### ○教育力低下の原因

- ・コミュニケーション、あいさつがかけてきている。スキンシップが少ない。
- ・登下校時声かけ運動は、知らない人から声をかけられるので小学生が引いてしまったことがある。地域の交流が少なくなっている。
- ・家庭の教育力はどれだけ子どもに経験させるか。
- ・当たり前なのが当たり前のようにしていない。
- ・社会が「ばれなければいい」という風潮。儲け主義。正しい方向に向いていない。
- ・家の手伝い、農家の手伝い→機械化で人手がいらなくなった。

### ○対策及び学校、地域の取り組み

- ・旅行で出かけるとき、なるべく美術館や博物館をみせている。
- ・子どもの安全を守る会。朝の交通指導。
- ・年寄りが、手をつないで、寄り道をしながら帰ってくる。
- ・あいさつ、思いやりを大切にする。  
(テレビを横になってみる→自分の目に思いやりをもっていない) 他の人に対しても同じ。
- ・あいさつが基本。あいさつをすることによって地域の方の顔を覚える。
- ・PTA活動。若い先生が学級のことで困っていた。→母親たちが「何かできることはありますか。」
- ・「給食試食会」学年ごと。給食を一緒に食べながら、食育について栄養教諭が話をする。
- ・講演会。性教育について養護教員。携帯電話についてメディア指導員。
- ・中高生父母の会で講演会。
- ・親子奉仕作業。地区生徒会、地区ごとに奉仕作業。
- ・学校、地域、保護者が連携していくことが大切。  
基本的な生活習慣、さわやかマナーアップ運動ではテーマを決めて家庭への協力を依頼。  
(あいさつ、荷物の整理、ゲーム時間)
- ・ノーテレビ、ノーゲームデー→家族団らん。
- ・早寝、早起き、朝ごはん。父親の出番、父親の人生訓。

### 今後の課題

- ・もっと学校に来て欲しい親がきてくれない。スクールカウンセラーが直接家庭訪問。
- ・学校が方向性を示してほしい。いいこと、悪いこと、家庭によって差がありすぎる。
- ・少子化で情報知らない。進路については情報発信が必要。

## 指導・助言

○家庭の教育力が落ちていると言われているが、それほど落ちているとは思わない。落ちているのは一部の家庭。地域によっての教育力、ふれあいの違いはある。

○幼児期で大切なこと

- ・小さい子が大きい声を出して騒いでいるとき、親がそれ以上に大きな声で怒っている。近くで落ち着いた声で声をかけるとどうか。

○幼稚園、小学校期で大切なこと

- ・危ないことをさせたくない。とめてしまう。→見守ることが大切
- ・家族とふれあいをもつことが大切
- ・約束をまもらせることが大切。  
(昔、夜寝る前に次の日の準備をしていた。今、朝寝坊したから忘れ物をした。)
- ・体験させることが大切。家庭の中でも体験することはたくさんある。(マッチをする。)
- ・親子で対話することが大切。

○中学校期

- ・自主性を尊重すること。行動に責任を持たせること。
- ・家族とのふれあいをもつことが大切。  
話したくないけれど、機会を作る。年寄りの知恵を活用する。  
悪いことをしたとき、親が子どもの前で謝ることは、子どもにとってつらいこと。
- ・親の考えを子どもに聞かせる。親の生き方を語る。
- ・約束を守って、責任を取らせる。やり遂げる気力。  
中学生は部活動で忙しいが、家庭の中で何か分担する。(自分の選択をしている子。)
- ・親子で活動する場面。(男の子は嫌がるが。)
- ・注意しなければならないこと…異性の話。地域の急激な都市化。休みの日の服装。

その他

- ・家庭の教育力は学校に高めてもらうのではなく、地域で高める。PTAにもち帰ってやらなければならないこと、やれることを考えていく。

教育問題委員会より

○おさんが何人いても、それぞれの子供には「初めての〇年生」。共に育つ姿勢も大事です。

○家庭(地域)での教育は重要だと思います。特に、地域での活動である子ども会、スポーツ少年団などは、他学年との交流や他人を応援する事の大切さを学習するとてもよい機会だと思います。積極的に参加して欲しいと思います。

○「約束」を守ることで大切でも守れなかったらどうなるか、戒める、怖いものが少なくなった。「おまわりさん」「先生」「父親」は印象薄くなっていませんか。



## 参加したいPTAにするために

### 協議内容

- 現在のPTA活動状況について。PTA活動の楽しさを分かってもらう方法はないか。
- ・本年度より本部に入った。今まではどのような活動をしているのか、よく分からなかった。(〇〇小)
  - ・会員は、PTAはいろいろな行事があって大変であるという気持ちが強いのでは。(〇〇小)
  - ・活動に対する温度差が感じられる。人目を気にして参加しづらいという考えがあるのでは。(〇〇中)
  - ・恥ずかしい話であるが、役員を決める方法としてくじ引きを行っている。子どもたちや学校の様子がよく分かるのでぜひ参加して欲しいと考えている。(〇〇小)
  - ・小学校と中学校ではPTA活動に望まれることが違うのではないか。行事には参加してもらえるが、リーダーシップを発揮してくれる人を見つけるのは大変である。小学校での役員経験者が中学校でも役員をやっているのが現状である。(〇〇中)
- PTA総会の出席率はどうか。総会の出席率を高めるためにどのような手立てを取っているか。
- ・地域に根ざした学校なので100%である。(〇〇小)
  - ・うちもほぼ100%である。(〇〇小)
  - ・30%ぐらいである。学年PTAを先にやっていたときは帰ってしまう人が多かったが、逆にしたら出席率が良くなった。(〇〇小)
  - ・授業参観→総会→学年懇談会の順序である。役員活動はボランティアである。人のためでもあるが、自分のためにもなる。(〇〇小)
  - ・総会の出席率は約90%である。総会→授業参観→学年懇談会→(親子下校)に順番を変えたら出席率が良くなった。(〇〇小)
  - ・役員選出は、知り合いを推薦するという形が多い。新しい住民にとっては壁を感じているのではないか。(〇〇小)
  - ・PTA活動がより魅力的であれば参加意欲も高まるのでは。役員会など、他の行事と一緒に実施するなどの工夫が必要では。(〇〇小)
  - ・会員の中には「やりたい人にやらしてもらえばよい」という考えもある。(〇〇小)
  - ・参加率は9割である。人間関係が希薄になりつつあるので、参加のためのきっかけ作り(場づくり)が大切である。親同士のふれあいも大切である。(〇〇小)
  - ・地区割りで役員を選出している。参加率を高めるためにも親子下校などを取り入れるのも一つの方法である。地域や学校のよさを前面に出した活動が大切である。(〇〇小)
  - ・専門部に人が集まらないのが現状である。(〇〇小)
  - ・参加率は80~90%。役員選出は地区割りで順番に行っている。(〇〇小)
  - ・役員選出方法を変更した。地区ごと→学年(5・6年生から3名ずつ)(〇〇小)
  - ・役員選出については協力的で、話をすれば引き受けていただける。(〇〇小)
  - ・総会の時に、主婦の立場で学校にお願いをしていることがあるが、解決策が示されない。(〇〇中)
  - ・PTA活動の一環としてHP作成も良いのではないか。(〇〇中)

## 指導・助言

- 司会者の配慮で数多くの意見がだされた。各単Pでも多くの意見が出せるよう配慮して欲しい。
- 保護者と学校・地域との協力・信頼関係が大切である。教育効果が高まり、子どもの幸せへとつながるからである。
- 学校教育への理解を深めてもらいたい。  
(教師が子どもたちと向き合うための時間が必要である。)
- 情報交換の大切さ 学校だけでなくPTAのHPの立ち上げを!
- PTA活動に参加することは子どもたちのためだけでなく、自分を成長させる良い機会である。  
多くの人との交流は自分の世界が広がるものである。
- 会員相互の学習に機会を多く、充実させていって欲しい。

### 教育問題委員会より

- 現職の役員会さんたち、元気な笑顔で活動していますか？ 悲壮感漂う場所には人が寄りませんよね？
- PTA活動は、自分には関係ないと考えている人が多いのではないのでしょうか？ 地域によって温度差はあるのですが、学校内の行事に参加するだけでなく、ぜひいろいろな活動に参加してもらいたいとおもいます。必ず得る事があります。
- PTA活動って各学校ごとでそれぞれ違いはあるんですね。少しは覗いてみたいと思うくらいで割りと情報交換してないんじゃないの、役員決めるとき結構悩むけど一番の問題かも。



## 給食費未納問題と親の責任をどう果たしたらよいか

### 協議内容

- ・親が無銭飲食を助長している。あつてはならないことで親の責任は大きい。給食を食べる人と食べない人を区別することも必要なのではないか。
- ・振込形式の集金に問題もある。お金の大切さが分からないのではないか。
- ・振込の残高不足で引き落としができなかった連絡をうけると申し訳なく思う。
- ・平気な人は意識が低下していて、どう変えていくかが問題。子どもの将来も心配。
- ・現金を持たせるのも心配であるが、お金の大切さの意識づけやが必要。
- ・給食袋→親子のきずな。給食は子どもも楽しみにしている。
- ・給食の歴史を知ること、その意義や大切さも分かるのではないか。
- ・給食費を地域で集めているところ、選択制のところもある。
- ・給食づくりや親子給食を体験させる。(入学の早い時点でシステムやその有り難さを分かってもらおう)
- ・親どうしの連携を強くする。学校行事以外に地域やPTA行事として親どうしのコミュニケーションの場を多くできたらよい。未納の人も心を開けるよう相談できる環境をつくっていかれたらよい。

### 指導・助言

- 自分たちのPTAで何ができるか
- 人はみんな一生懸命生きているということを忘れないでいきたい
- 他人にはやさしく、自分にはきびしく が生き方の基本
- PTAとしてのつながる力をつけてほしい。
- 責任を果たす→子どもを愛する。学校を愛する。**
- 地域とともにつながりを持つ保護者になって欲しい。**
- あたり前のことがあたり前にできる子どもを育てたい。**

教育問題委員会より

- 給食費未納で携帯インターネットパケホの人居ますか？

それができるなら給食費払いなさい！ほぼ同額ですから。

- 『しなければいけないこと』『してはいけないこと』を守る事は、生活の基本だと思います。親が出来なければ、当然子どもにも教えられないのではないのでしょうか。



## 豊かな心をもつ子どもに育てるために

— 道徳を重んじ、健全に育つ環境を整えるために、いかに親が子どもたちの手本となれるか考えてみよう —

### 協議内容

○規範意識を持たせるために実践していることを発表する。

・高校生で、うちの子は、友達を作るのが比較的上手で、多いときは10人も家に遊びに来る。しかし、遊びに来て、あいさつができない子は、家に入れない。しだいに、「おじゃましました。」と挨拶を気持ちよくしていくようになった。また、家に遊びに来た友達が、庭のごみを拾っていった。ほめてあげた。

○やさしい子どもに、思いやりのある子にするために、自分の体験を通じて話していただけませんか。

・親が子どもの手本となる。→ 自分の子どもだけでなく、地域の子どもに声をかけてあげることが大切。家庭内ではできていることが多いので、大人として、子どもたちに接してあげる。広い気持ちで、接してあげる。

### 指導・助言

小中学校の子育ての途中で大変だと思います。子育て中は、とてもいい時期である。家族が何人もして一緒に過ごせる時期であり、あつという間にすぎてしまうものである。

18歳の時期がきたら自立するのだと話した。現在は、18歳を過ぎて、それぞれの場所でやっている。できることなら、もっと長く親子の関係で一緒にやっていきたかった。その時期を楽しんでほしい。

ある時期、ちょっと生意気な時期がある。また、ヤンキーな姉ちゃんの「下妻物語」もとても、おもしろい。→要するに、思春期の時期は、コミュニケーションが下手である。もんもんと考えてることが上手に表現することができない。うざい……。表現が下手な子どもたちの時期がある。

昨日、市内の子どもたちのすばらしい学級作りのはなしがあった。7月18日の終業式の日、14名の子どもたちが、一人一人「どうもありがとう。1学期、どうもありがとう。」と言って、夏休みのお別れをした。この話を聞いて、いいものだな。おだやかな心が育っている。という思いがした。

### 協議内容

- ・5年生なのですが、親子で一緒にお風呂にはいつている。そして、一緒に寝ている。いろいろと話ができる。
- ・子どもが話しかけているのに、聞いてあげなかった。
- ・言葉遣いが大切である。地域のお祭りの時に、地区の子どもが「おい、てめえ。この〇〇（呼び捨て）」大事に大事に子育てをして。子どもの言葉遣い、特に、おばあちゃんに対する言葉遣いが悪いときは、しっかり叱ることも必要である。規範意識を高めるための、言葉かけが大切である。
- ・自分の子どもだけでなく、部活の友達と一緒にキャンプに連れて行く。腹を割って話し合いをすることも大切。そういう、機会を作ることも大切である。仲間や友達を大切にする気持ちが大切である。
- ・父親が犬を飼い始めた。犬の散歩の時に、必ずポシェットと黒い袋を持って行く。次第に、他の人も同じように糞の始末をする人がでてきた。とてもうれしい気持ちになった。大切なことだと思う。
- ・父親が、しだいに離れていく娘を見ていて気がついた。父親は意識的に、子どもといっしょにいるように心がけた。→すると、子どもも、父と一緒にいるのが楽しいと思えるようになった。いつでも、遅いということはない。

- ・家の中に、紙にかいて「きちんとあいさつ。」「食べた食器は自分で下げましょう。」と貼っておいた。言わなくても実践してくれる。
- ・朝食を食べるときは、必ず一緒に食卓に座るようにしている。その日の行事のプールのことやいろいろなことを話すようになった。子どもの話を聞けるようになった。

## 指導・助言

- ・自分は8人家族で、4世代の同居をしている。  
3つの顔がある。つまり、子どもの顔、じいじの顔、親の顔。どれも楽しくなければつまらない。孫がよく見える。  
18年間育てた子どもをアパートに置いてくる場面があった。残念である。18年間何をしてあげられたのか。さびしい気持ちになる。
- ・この部会は、子どもが上にいる保護者が多い。自分の子どもが見えている。そこにいるだけでも違う安心感がある。
- ・このテーマは3つに分けられる。

### 規範意識

- ・ルール、マナー、約束事から始まる。つまり、「寝る時間は…、小遣いは…、挨拶は…」などと、これらによって人間はたくましくなる。→規範意識が高まってくる。

### 対話

- ・短い言葉は命令になる。心が貧しくなる。雑なことになる。
- ・主語・述語を使う。  
二人称よりは一人称で話す。私メッセージでいく。  
「私は、こう思う。」「あなたは、どうなの。」  
自立していく、自主性が育つ。
- ・美しい言葉の中に、「お」のつく言葉がある。おかげさま、おつかれさま、……

### 社会貢献

- ・体感させる、体で覚える。  
水戸では、黄門祭りの後、次の日中学生が朝4時に起きて、花火大会の後の清掃を行う。  
この中学生は、まず、ごみは捨てなくなる。社会貢献も大事なこと。

教育問題委員会より

○あなたは子供に発する言葉に魂を込めていますか？その言葉に説得力がありますか？

私は、言霊を発する親になりたい。

○『心が貧しくなっている』とよく耳にします。物質的に豊かになると、心は貧しくなるのでしょうか？

心を育てていくポイントは「会話」だとおもいます。意見を交換してこそ心の成長があるのではないのでしょうか？一方的な意見の押し付けは（それが押し付けだと気付かなくても）心の成長には役に立たないでしょう。会話する事によって、親も子も豊かな心が育っていく事とおもいます。



○最近、子どもが観ているテレビドラマに出演の若者の台詞が聞きづらいと思っている。ドラマが先か現代の若者言葉が先か、流行りことばが先なのか、心の思いやりが感じられる日本語を使ってもしいものだ。